

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	福井市の下水道事業による快適な生活環境創造計画その2												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	福井市												
計画の目標	未整備地域の污水管渠を整備し、住民理解を得ながら普及拡大を行うことにより、下水道整備による快適な暮らしを実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,225	A	7,215	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.13	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道処理人口普及率を84.5%(H28当初)から87.5%(H32末)に増加させる。H28当初の現況値は、最新の集計値であるH26末の普及率とする。			
	下水道処理人口普及率 処理人口(人)/行政人口	85%	86%	88%
2	大瀬ポンプ場の汚水処理に必要なポンプ数を2台(67%)から3台(100%)とする。			
	ポンプ充足率 稼働ポンプ数(台)/汚水処理に必要なポンプ数(3台)	67%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	福井市	直接	福井市	管渠(汚水)	新設	新保汚水1号幹線外(未普及対策)	汚水管 75~450mm L=35, 500m	福井市						6,602		-	
	A07-002	下水道	一般	福井市	直接	福井市	管渠(汚水)	新設	効率的な事業実施のための施設計画策定	施設計画策定	福井市							42		-
	A07-003	下水道	一般	福井市	直接	福井市	ポンプ場	新設	大瀬ポンプ場(増設)	汚水ポンプ増設	福井市							432		-
	A07-004	下水道	一般	福井市	直接	福井市	終末処理場	新設	美山浄化センター	改築(フレックスプラン対応)	福井市							139		-
												小計						7,215		
												合計						7,215		

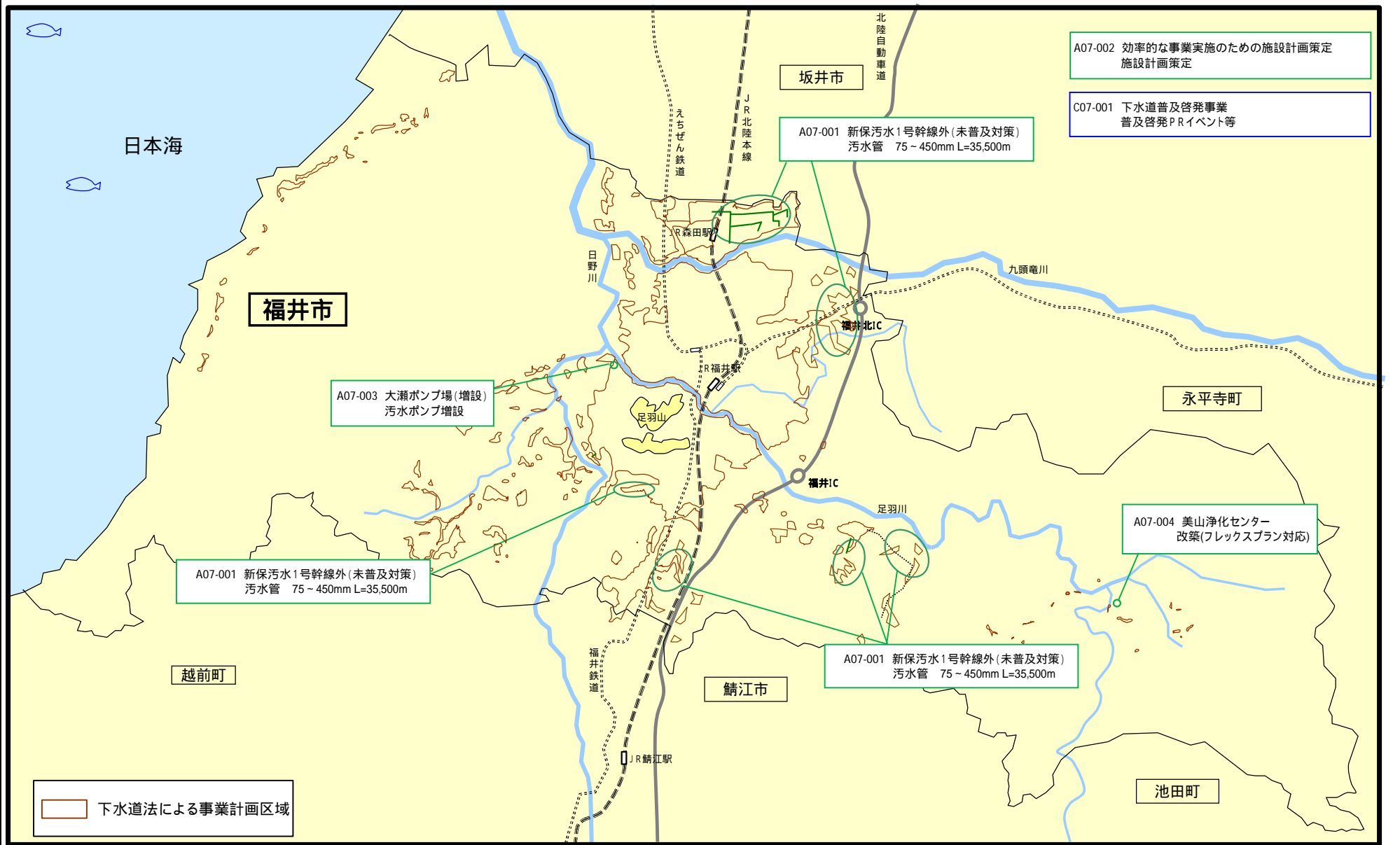


事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 福井市企業局において実施	事後評価の実施時期 令和4年8月
	公表の方法 福井市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	未普及地域における污水管渠整備により、令和2年度末には、供用開始区域が5,166.8haとなり、福井市全体の人口に占める公共下水道の普及率は、88.4%に向上した。 公共下水道の普及拡大に伴う汚水量の増加に対応するため、大瀬ポンプ場の污水ポンプ増設を行い、処理場への送水能力が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和6年度の公共下水道概成に向け、未普及地域における污水管渠の整備を実施していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率（％）	
	最終目標値	88%
	最終実績値	88%
2	ポンプ充足率（％）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

計画の名称	福井市の下水道事業による快適な生活環境創造計画その2		
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)	交付対象	福井市



下水道法による事業計画区域